

科目名 ナンバリングコード	母子健康支援論 NUS2163MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	2単位
科目責任者	医学部看護学科 准教授 加藤 陽子				
科目担当者	医学部看護学科 田中 佳代、跡上 富美、岡村 光子、永田 真理子、南條 妃咲				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>妊娠・分娩・産褥期にある女性—妊産褥婦—と胎児及び新生児の特性を理解し、母子がその一連の過程において身体的、心理・社会的変化に適応し、パートナー及び家族と共に新たな役割の獲得に向けて支援するための援助方法を学ぶ。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊娠・分娩・産褥期にある女性—妊産褥婦—と胎児及び新生児の身体的・心理的・社会的特性について説明できる。 2) 妊娠・分娩・産褥期にある女性—妊産褥婦—と胎児及び新生児のアセスメントの視点を説明できる。 3) 妊娠・分娩・産褥期、新生児期にある母子とそのパートナーである男性及び家族に対する援助の方法について説明できる。 4) 正常から逸脱した母子の援助を説明できる。 5) 母子の健康援助のための看護過程の特徴を説明できる。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習（予習・復習等）	必要時間	
第1回	Introduction	田中【講義】	シラバスの確認	15分	
第2回	妊娠期の身体的変化とその経過	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第3回	妊婦・胎児・家族のアセスメントー(1)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第4回	妊婦・胎児・家族のアセスメントー(2)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第5回	妊娠期の心理・社会的変化とアセスメント	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第6回	妊娠の異常と看護	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第7回	ハイリスク妊娠・合併症妊娠の看護	永田【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第8回	妊娠期の妊婦と家族のケアー(1)	担当者全員【演習】	企画検討・媒体作成	90分	
第9回	妊娠期の妊婦と家族のケアー(2)	永田【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第10回	分娩の生理と経過ー(1)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第11回	分娩の生理と経過ー(2)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第12回	分娩期の産婦と家族のケア	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第13回	産褥期の身体的変化と心理・社会的変化	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第14回	褥婦のアセスメントとケアー(1)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第15回	褥婦のアセスメントとケアー(2)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第16回	母乳哺育ー(1)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第17回	母乳哺育ー(2)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第18回	新生児の生理とアセスメントー(1)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第19回	新生児の生理とアセスメントー(2)	加藤【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第20回	新生児のケア	岡村【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第21回	ハイリスク新生児とその家族へのケア	岡村【講義】	講義資料・テキスト復習	30分	
第22回	母性の看護過程ー(1)	担当者全員【演習】	講義資料・テキスト復習	60分	
第23回	母性の看護過程ー(2)	担当者全員【演習】	講義資料・テキスト復習	60分	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論 医学書院 病気がみえる vol.10 産科 メディックメディア				
参考書	講義中に適宜紹介する				
成績評価					
方法（割合）		基準			
筆記試験（90%）		到達目標の達成度を正答率で評価する。			
受講態度（10%）		出席状況をポイント化し評価する。			
課題（レポート等）に対するフィードバック		課題に関しては、記述又は口頭でフィードバックを行う。			

科目名 ナンバリングコード	療養生活支援論Ⅲ NUS2133MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	1単位	
科目責任者	医学部看護学科 教授 原 頼子					
科目担当者	医学部看護学科 桐明 あゆみ、河原田 康貴、姫野 深雪、孫田 千恵、専任教員 医学部麻酔科学講座 山田 信一 大学病院緩和ケア病棟 松尾 光代					
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 終末期の対象および家族を尊重し、安らかで尊厳のある死を迎えるための援助方法を学ぶ。 2) 安寧で、希望を持った生き方を支援するための看護者としての態度を形成する。 3) 倫理問題を踏まえ、患者・家族がより適切な選択や意思決定ができるための総合的な援助を学ぶ。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 終末期にある対象や家族をイメージすることにより、様々な症状の緩和および疼痛コントロールに必要な知識が具体的な実践方法につながる考え方を理解する。 2) 1) を深めることで、スピリチュアルケア、家族へのケア、看取りのケアについて学ぶ。 3) 死をめぐる倫理的課題や、いのちの大切さを学ぶことを通し、看護者としての態度を育成する。 					
授業計画						
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間		
第1回	いのちの大切さ、死生観、死の受容、終末期ケア、緩和ケアの定義、看護者の役割	原【講義】		毎回 30分		
第2回	緩和ケアの基盤となる考え方（全人的苦痛、喪失と悲嘆のプロセス、日常生活を支えるケア）	原【講義】	この授業は、いのちの大切さを知り、その看護を学びます。 1) すべての回に共通する予習として、教科書、資料等を読み、自分で考える時間を持って下さい。 2) 講義後の復習は、授業の資料や関連図書等を使用し、振り返りをして下さい。			
第3回	身体・精神症状のマネジメント1（痛みのメカニズム、薬剤の理解、特徴的な痛みの緩和）	山田【講義】				
第4回	身体・精神症状のマネジメント2（呼吸困難、浮腫、不安等）	原【講義】				
第5回	終末期の意思決定支援と倫理的諸問題	姫野【講義】				
第6回	神経難病患者の終末期ケア	桐明【講義】				
第7回	終末期患者を持つ家族へのケア	桐明【講義】				
第8回	治療期の緩和ケア（倦怠感のケア、スピリチュアルケア）	原【講義】				
第9回	終末期の緩和ケア（人生の最終段階の理解、看取りの意味、臨死期のケア、エンゼルケア：デモンストレーション）	姫野・原【講義・演習】				
第10回	緩和ケア病棟の実際、QOLを尊重するケア	松尾【講義】				
第11回	心不全患者における緩和ケア	原【講義】				
第12回	終末期に必要なケア技術1（身体・心理状態の理解と具体的ケア、グループによる事例展開）	原【講義】				
第13・14回	終末期に必要なケア技術2（患者・家族の意思決定への支援、ロールプレイ）	原・桐明・河原田・姫野・孫田【演習】				
第15回	終末期ケアまとめ（看護の専門的アプローチ、保健医療福祉連携によるチームアプローチの重要性）、今後の展望	原【講義】				
テキスト	① 鈴木志津枝・内布敦子：成人看護学 緩和・ターミナルケア看護論、ヌーヴェルヒロカワ 2011年第2版第9刷					
参考書	① 梅田 恵，射場典子：緩和ケア，南江堂 2018，第2版 第2刷 ② 柏木哲夫・藤腹明子編集：系統看護学講座別巻10、緩和ケア 医学書院					
成績評価						
方法（割合）	基準					
筆記試験・レポート（90%） 受講態度（10%）	到達目標への達成度を正答率で評価する。 演習における課題達成度は、出席状況、レポート提出の有無、記載された内容を評価する。					
課題（レポート等）に対するフィードバック	内容については授業中にフィードバックし、各自での振り返りを行う。					

科目名 ナンバリングコード	療養生活支援論Ⅳ NUS2142MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	2単位
科目責任者	医学部看護学科 講師 草場 知子				
科目担当者	医学部看護学科 古村 美津代、新 裕紀子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標 加齢に伴う心身の変化を理解し、高齢者の健康を維持・回復・増進するための日常生活の援助方法について学ぶ。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 老年期に起こりやすい健康障害や特徴的な症状について理解し、アセスメントと看護について説明できる。 2) 高齢者がその人らしく生活するために、健康状態の保持・増進、予防に向けた看護援助を修得できる。 3) 認知症高齢者及び家族への支援について理解し、基本的な援助技術を修得できる。 4) 人生の最終段階における高齢者とその家族の意思決定や尊厳を守る支援について説明できる。 5) 高齢者と家族の生活を支えるための他職種との連携・協働、看護職の役割について説明できる。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 第16回 第17回 第18回 第19回 第20回 第21回 第22回 第23回	<p>地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護</p> <p>高齢者の清潔・整容・衣生活の援助</p> <p>高齢者の褥瘡予防とスキンケア</p> <p>高齢者の排泄の援助</p> <p>高齢者の栄養・食生活の援助 1) 低栄養・脱水予防、摂食嚥下障害</p> <p>高齢者の栄養・食生活の援助 2) 食事援助の実際</p> <p>高齢者の活動の援助 1) 廃用症候群の予防、歩行・移動の援助</p> <p>高齢者の活動の援助 2) アクティビティケアの計画立案</p> <p>高齢者の睡眠・休息の援助</p> <p>認知症をもつ高齢者とその家族の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 認知症の定義、症状、診断、治療 2) アセスメントと看護 3) 活用される療法：ユマニチュード・回想法・ライフレビュー 4) 認知症高齢者とのコミュニケーション技術 <p>治療を受ける高齢者の看護 1) 薬物療法</p> <p>治療を受ける高齢者の看護 2) 手術療法、リハビリテーション</p> <p>治療を受ける高齢者の看護 3) 検査・診察、入院、退院支援</p> <p>高齢者の感染症対策、災害時の看護</p> <p>高齢者のリスクマネジメント</p> <p>高齢者のエンドオブライフケア：意思決定支援、看取りの看護</p> <p>老年看護における家族支援</p> <p>事例展開：生活・療養の場における高齢者の看護</p> <p>事例展開：生活・療養の場における高齢者の看護</p> <p>高齢者ケアにおける他職種連携と看護職の役割、まとめ</p>	<p>草場【講義】</p> <p>草場【講義】</p> <p>新【講義・演習】</p> <p>新【講義・演習】</p> <p>草場【講義】</p> <p>全員【講義・演習】</p> <p>草場【講義・演習】</p> <p>草場【講義・演習】</p> <p>草場【講義】</p> <p>古村【講義】</p> <p>古村【講義】</p> <p>古村【講義】</p> <p>全員【講義・演習】</p> <p>新【講義】</p> <p>草場【講義】</p> <p>草場【講義】</p> <p>新【講義】</p> <p>草場【講義】</p> <p>草場【講義】</p> <p>草場【講義】</p> <p>草場【講義】</p> <p>全員【講義・演習】</p> <p>全員【講義・演習】</p> <p>草場【講義】</p>	<p>・テキストの該当項目について予習</p> <p>・実施した講義・演習内容についてテキスト配布資料で復習</p> <p>・第6・8・13・20回は課題を課す</p> <p>・第21・22回は各自、必ず事前に課題を行い、グループワーク・発表に主体的に臨むこと</p>	<p>各 30分 ～ 60分</p>	
テキスト	真田弘美，正木治恵：看護学テキストNICE 老年看護学技術 改定第3版，南江堂，2021 水谷信子，水野敏子，高山成子他：最新老年看護学 第3版，日本看護協会出版会，2021（2年次購入）				
参考書	亀井智子：根拠と事故防止からみた 老年看護技術 第3版，医学書院，2020 その他、講義の中で紹介する				
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験（70%） レポート（20%） 受講態度（10%）	<p>・到達目標の達成度を定期試験の正答率で評価する。</p> <p>・各演習において課題を提示。課題の内容について適切に述べていること。</p> <p>・講義・演習への出席状況・参加態度（積極性、意見、質問など）をポイント化し評価する。</p>				
課題（レポート等）に対するフィードバック	レポートは採点後に返却する。				

科目名 ナンバリングコード	療養生活支援論V NUS2173MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	2単位
科目責任者	医学部看護学科 講師 福浦 善友				
科目担当者	医学部看護学科 舞弓 京子、松島 亜希子 医学部神経精神医学講座 柳本 寛子、佐藤 守 大学病院精神神経診療科 坂本 賢治				
教育目標 到達目標	<p>教育目標 精神障害をもつ対象を理解し、生活上の問題をとらえ、自立に向けての援助について学習する。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の権利及び権利擁護について説明できる。 2) 安全な治療環境・安全管理について説明できる 3) 精神疾患の症状、経過について説明できる。 4) 精神疾患の治療（薬物療法・精神療法・作業療法・m-ECT）、看護師の役割について説明できる。 5) さまざまな精神疾患の回復過程に応じた看護援助について説明できる。 6) セルフケア能力をアセスメントできる。 7) 精神領域における法律について理解、説明できる。 8) 精神障害をもつ人が活用できる社会資源・地域支援について説明できる。 9) 家族をアセスメントし、家族支援について考察できる。 10) 回復（リカバリー）に向けての多職種連携を通し、看護師の役割を理解する。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第1回	権利擁護と処遇・安全管理	福浦【講義】	各回の資料 やノートを 自分の言葉 で表現し、 整理してお く。	各回 30分	
第2回	精神療法と看護	舞弓【講義】			
第3回	薬物療法と看護	福浦【講義】			
第4回	精神医学① 気分障害 検査・治療 (m-ECT等)	柳本【講義】			
第5回	気分障害 (抑うつ障害群・双極性障害等) 患者の看護	舞弓【講義】			
第6回	精神医学② 統合失調症 検査・治療	佐藤【講義】			
第7回	精神医学③ 症状性を含む器質性精神障害 検査・治療等	柳本【講義】			
第8回	総合失調症患者の看護	福浦【講義】			
第9回	精神医学④ 自閉症スペクトラム・学習障害・ADHD 検査・治療	佐藤【講義】			
第10回	児童・思春期患者の看護	舞弓【講義】			
第11回	物質関連障害 (アルコール・薬物依存症など) 患者の看護	松島【講義】			
第12回	作業療法	坂本【講義】			
第13回	身体症状症および関連症 (変換症等) 患者の看護	福浦【講義】			
第14回	解離性障害患者およびパーソナリティ障害患者の看護	舞弓【講義】			
第15回	不安障害 (社交不安障害・パニック障害等) 患者の看護	松島【講義】			
第16回	睡眠障害の看護・リエゾン精神看護	舞弓【講義】			
第17回	家族システム・家族療法等	舞弓【講義】			
第18回	強迫性障害患者およびてんかん患者の看護	松島【講義】			
第19回	摂食障害患者の看護	松島【講義】			
第20回	精神保健福祉法, 障害者総合支援法, 医療観察法等	福浦【講義】			
第21回	社会復帰・社会参加への支援 (退院支援)・多職種連携と看護の役割	福浦【講義】			
第22回	社会資源の活用とケアマネジメント・リカバリ・レジリエンスなど	福浦【講義】			
第23回	対象理解と看護介入	福浦【演習】			
テキスト	萱間真美、野田文隆編:精神看護学Ⅰ精神保健・多職種とのつながり, 2018, 南江堂 (1年次購入済) 萱間真美、野田文隆編:精神看護学Ⅱ地域・臨床で活かすケア改訂第3版, 2022, 南江堂				
参考書	必要時資料配布				
成績評価					
方法 (割合)	基準				
筆記試験 (100%)	定期試験 (マークシート) で評価する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック	特にレポートは課さない。				

科目名 ナンバリングコード	小児療養生活支援論 NUS2152MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	2単位
科目責任者	医学部看護学科 講師 藤好 貴子				
科目担当者	医学部看護学科 益守 かつき、水落 裕美 大学病院看護部 坂田 理絵（新生児集中ケア認定看護師）				
教育目標 到達目標	<p>教育目標 子どもの健康障害に伴う徴候や症状を理解し、健康上の問題をもつ子どもと家族に対する看護援助について学ぶ。</p> <p>到達目標 1) 病児の看護の基本となる概念と援助方法について説明することができる。 2) 子どもに特有な疾患および小児期に多い症状について説明することができる。 3) 子どもの安全なケア環境について説明することができる。 4) 小児看護の特殊技術について説明することができる。 5) 子どもの健康問題を解決するために、看護過程を展開することができる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第1回	健康障害を持つ子どもの看護	藤好【講義】	課題	1時間	
第2回	子どもと家族の倫理的問題	益守【講義】	講義後復習	20分	
第3回	慢性期にある子どもと家族の看護（免疫・アレルギー）	藤好【講義】	講義後復習	20分	
第4回	慢性期にある子どもと家族の看護（呼吸器疾患）	藤好【講義】	講義後復習	20分	
第5回	慢性期にある子どもと家族の看護（循環器疾患）	益守【講義】	講義後復習	20分	
第6回	小児看護技術：演習1（バイタルサイン測定、身体計測）	水落【講義】	講義後復習	20分	
第7回	地域で生活している健康問題を抱える子どもと家族の看護（外来看護）	益守【講義】	講義後復習	20分	
第8回	小児看護技術：演習2（経管栄養・与薬、固定・抑制）	水落【講義】	講義後復習	20分	
第9回	隔離・活動制限が必要な子どもと家族の看護（感染症・腎疾患）	藤好【講義】	講義後復習	20分	
第10回	先天的な問題を持つ子どもと家族の看護（染色体異常、代謝・内分泌）	藤好【講義】	講義後復習	20分	
第11回	小児看護技術：演習3（輸液管理・検体採取・浣腸）	水落【講義】	講義後復習	20分	
第12回	小児看護技術：演習4（侵襲の大きい検査・鎮静時の看護）	水落【講義】	講義後復習	20分	
第13回	痛みのある子どもと家族の看護（消化器疾患）	藤好【講義】	講義後復習	20分	
第14回	手術を受ける子どもと家族の看護	藤好【講義】	講義後復習	20分	
第15回	外傷のある子どもと家族の看護	藤好【講義】	講義後復習	20分	
第16回	心身障害のある子どもと家族の看護	益守【講義】	講義後復習	20分	
第17回	低出生体重児の看護	坂田【講義】	講義後復習	20分	
第18回	事例を活用しての看護過程の展開	藤好【講義】	課題	3時間	
第19回	災害時における子どもと家族の看護、リスクマネジメント	益守【講義】	講義後復習	20分	
第20回	終末期の子どもと家族の看護（悪性疾患）	藤好【講義】	講義後復習	20分	
第21回	小児看護技術：演習5（赤ちゃんとの触れ合い体験・導入）	藤好・益守・水落【演習】	講義後復習	20分	
第22回	小児看護技術：演習6（赤ちゃんとの触れ合い体験）	藤好・益守・水落【演習】	課題	1時間	
第23回	小児看護技術：演習7（赤ちゃんとの触れ合い体験・看護過程の振り返り）	藤好・益守・水落【演習】	講義後復習	20分	
テキスト	中野綾美編集 ナーシング・グラフィカ 小児の発達と看護 小児看護学① メディカ出版 2021年 中野綾美編集 ナーシング・グラフィカ 小児看護技術 小児看護学② メディカ出版 2021年 中野友彦編集 ナーシング・グラフィカ 小児の疾患と看護 小児看護学③ メディカ出版 2021年				
参考書	講義の中で提示する				
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験（70%） 課題（30%）	<ul style="list-style-type: none"> 到達目標の達成度を筆記試験の正答率で評価する。 各課題において、情報をアセスメントし、病気の子どもと家族の体験が明文化され、看護上の問題点の抽出、看護計画立が具体的に提案されていること。 				
課題（レポート等）に対するフィードバック	課題は講義終了後採点し、返却する。				

科目名 ナンバリングコード	在宅看護論Ⅱ NUS3183MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 講師 渡邊 理恵				
科目担当者	医学部看護学科 山下 寛子、森永 朗子 非常勤講師 氷室 秀高 (医療法人社団 秀和会) 非常勤講師 小野 幸代 (在宅療養サポートセンター 久留米)				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 在宅看護活動を展開するための基本的知識と支援方法について理解する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 在宅における看護の対象者を、生活者として捉える必要性や重要性について述べることができる。</p> <p>2) 在宅における日常生活援助方法・医療処置管理のあり方について述べるができる。</p> <p>3) 在宅療養者の終末期看護や意思決定の支援のあり方について述べるができる。</p> <p>4) 在宅におけるチーム医療及び多職種連携・協働における看護師の役割を理解できる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	<p>地域療養を支える制度とその活用</p> <p>在宅療養を支える基本的な技術①</p> <p>在宅療養を支える基本的な技術②</p> <p>在宅療養者の食の支援 (訪問歯科診療と多職種連携)</p> <p>在宅における対象別看護 ①:日常生活支援</p> <p>在宅における対象別看護 ②:医療的ケア</p> <p>在宅における医療機器の特徴と管理</p> <p>在宅における終末期看護</p> <p>在宅ケアにおける多職種の連携・協働</p> <p>特別講義「人生最期の意思決定を支える支援」 —在宅医から看護師に期待すること—</p> <p>在宅における看護過程の展開① (事例と演習課題の提示)</p> <p>在宅への退院移行支援</p> <p>在宅における小児障害児の看護</p> <p>在宅における看護過程展開② (演習課題に対するまとめ)</p> <p>まとめ 実習に向けて</p>	<p>渡邊【講義】</p> <p>山下【講義】</p> <p>渡邊【講義】</p> <p>氷室【講義】</p> <p>渡邊【講義】</p> <p>渡邊【講義】</p> <p>渡邊・山下・森永【演習】</p> <p>小野【講義】</p> <p>渡邊【講義】</p> <p>特別講義講師【講義】</p> <p>渡邊【講義】</p> <p>山下【講義】</p> <p>渡邊【講義】</p> <p>渡邊・山下・森永【演習】</p> <p>渡邊【講義】</p>	<p>在宅看護論Ⅰの復習</p> <p>※毎回テキストと配布した資料による予習と復習</p> <p>※第5回は訪問歯科診療と歯科衛生士の講義、口腔ケア・嚥下訓練について予習して受講する。</p> <p>※第10回特別講義は訪問診療医の特別講義、ACP(人生会議)について予習して受講する</p> <p>※第11回では看護過程の演習課題を提示する(看護過程Ⅱの講義内容の理解のもと)第14回までに各自課題に取り組み、提出する。第15回の講義内で演習課題に対する質問を受け理解を深める。</p>	<p>毎回予習と復習で各30分～60分</p>	
テキスト	・ 臺 有桂 他 編 ナーシング・グラフィカ 在宅看護論①・② (2021年版)				
参考書	①日本在宅ケア学会 在宅ケア学第1巻～第6巻 株式会社ワールドプランニング 2015年 ②押川真喜子 監修 写真でわかる訪問看護 アドバンス初版 (株) インターメディカ 2016年				
成績評価					
方法 (割合)	基準				
筆記試験 (70%)	筆記試験を実施し到達目標の達成度を正答率で評価する。				
レポート (15%)	在宅における特徴を理解し、看護過程 (一部) を展開しているかを評価する。				
受講態度 (15%)	授業へ積極的に参加する姿勢・毎回の講義内容について具体的な感想や質問等をポイント化し評価する				
課題 (レポート等) に対するフィードバック	講義の中で解説する。採点后実習中に返却する。				

科目名 ナンバリングコード	地域看護活動論 PHN2113MN5	必修科目	3年次 1学期	講義・演習	3単位
科目責任者	医学部看護学科 准教授 佐藤 祐佳				
科目担当者	医学部看護学科 小島 一将 非常勤講師 今村 寿子 (久留米市立上津小学校)				
教育目標 到達目標	教育目標 1) 地域の特性に基づいた地域保健活動を展開することができる。 到達目標 1) 人々の生活と健康を客観的に捉え、地域の特性と人々の生活を関連づけながら捉えることができる。 2) 地域における地区組織活動の意義を理解し、地区組織への支援方法を理解できる。 3) 学校保健・産業保健の対象者の特性に基づいた活動の展開を理解できる。				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習(予習・復習等)	必要時間	
第1回	地域診断の意義・目的	佐藤【講義】	シラバスの確認	20分	
第2回	地域診断の方法	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第3回	地域診断の実際1;対象の捉え方	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第4回	地域診断の実際2;情報収集	佐藤・小島 【講義・演習】			
第5回	地域診断の実際3;情報収集	佐藤・小島 【講義・演習】	第1・2回の復習	30分	
第6回	地域診断の実際4;情報の分析(アセスメント)	佐藤・小島 【講義・演習】	第3回まで完成させる	30分	
第7回	地域診断の実際5;情報の分析(アセスメント)	佐藤・小島 【講義・演習】	第4回まで完成させる	30分	
第8回	地域診断の実際6;健康課題抽出	佐藤・小島 【講義・演習】	第5回まで完成させる	30分	
第9回	地域診断の実際7;健康課題の発表と討議	佐藤・小島 【講義・演習】	発表のための準備	30分	
第10回	地域保健活動の目的;地域組織育成・支援	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第11回	精神保健の課題と支援	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第12回	精神保健活動の実際;社会復帰に向けた支援	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第13回	障害者(児)の健康課題と保健指導	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第14回	難病保健医療福祉の動向;難病対策	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第15回	難病患者の健康課題と支援	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第16回	産業保健の労働衛生管理体制	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第17回	産業保健活動の健康課題1;職業性疾病、作業関連疾患	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第18回	産業保健活動の健康課題2;健康管理、メンタルヘルス	佐藤【講義】	該当テキストの予習	20分	
第19回	産業保健活動の健康課題3;過重労働、地域連携	佐藤【講義】			
第20回	児童生徒の発育発達と学校保健	今村【講義】	該当テキストの予習	20分	
第21回	学校保健活動の展開	今村【講義】	該当テキストの予習	20分	
第22回	養護教諭の活動の実際1;健康診断、健康相談、保健指導、感染症予防	今村【講義】	該当テキストの予習	20分	
第23回	養護教諭の活動の実際2;事故防止、保健学習、学校保健委員会、地域の関係機関との連携	今村【講義】	該当テキストの予習	20分	
テキスト	中谷芳美 他編 標準保健師講座3 公衆衛生看護活動 第4版 医学書院 2018 (2年次購入)				
参考書	上野昌江 和泉京子 編 公衆衛生看護学 第2版 中央法規 佐伯和子 編 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版 医歯薬出版株式会社				
成績評価					
方法(割合)	基準				
筆記試験(70%)	到達目標の達成度を正答率で評価する。				
レポート(30%)	地域診断の情報整理・健康課題の抽出でき、地域の特性を考察できる。				
課題(レポート等)に対するフィードバック	レポートは、採点后返却を行い講義時間内にて解説を行う。				